

着装によって生起する多面的感情状態の構造

(第1報) 肯定的感情の場合

松阪大女短大 ○渡辺澄子 川本 栄子 滋賀女短大 成田巳代子
華頂短大 西藤 栄子 奈良女大家政 中川 早苗

目的 華やかなパーティードレスを着装すれば気分も華やかになり、スポーティーな服装をすれば気分も軽快になるなど、着装によって我々の感情は影響される。本報ではこのような服装によって変化する感情状態を把握するため、着装時に生起する感情状態を表現する用語を収集し、その類型化および階層構造の検討を行うことを目的とするものである。

方法 感情状態評価用語の収集にあたっては、女子短大生を対象に、これまでの生活経験から、着装によって生じた肯定的な感情の変化を思い出させ、その時期、場面、服装とともにその時の感情を言語を用いて表現させた。収集された用語の中から、感情状態を評価しているもののみを選び出し、意味内容の類似しているものをまとめて60語を選定した。分析にあたっては、選定した60語をカード化し、被験者として女子学生79名に1組ずつ配布し、類似していると思うものどうしをグループ化させた。それをもとに用語どうしの類似率を算出し、さらに類似率から距離行列に変換し、ワード法によるクラスター分析を行った。

結果 感情状態を表現する60の用語についてクラスター分析を行った結果、①さわやか・すっきり、②陽気で嬉しい、③元気はつらつ、④安らぎのある、⑤誇らしい、⑥うっとりした・優雅な、⑦大人っぽい、⑧あらたまったの8クラスターに分類できた。さらにこれらのクラスターの階層構造を求めたところ、最終的には①②③が順次結合した感覚的な快と④～⑧が順次結合した精神的な快とに大きくわかれていることが明らかになった。